

従業者向け

児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			
	28	(28～30は、センターのみ回答)			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。			
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。			
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。			

	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。			

保護者向け

児童発達支援評価表

(保護者の皆さまへ)

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。					
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。					
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。					
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。					
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていていると思いますか。					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。					

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。					
	29	事業所の支援に満足していますか。					

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	プライマリーclubやちよ			
○保護者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2025年 1月 18日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児童発達支援 21名 放課後等デイサービス 15名	(回答者数)	児童発達支援 13名 放課後等デイサービス 13名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 3月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	音楽を通じた療育カリキュラム	音楽を流すことで児童の音楽やリズムをとることによって脳の活性化し学習能力を身につける事が出来る。	同じカリキュラムでも指導員とリズムなどを変えることでより子供が楽しんで取り組めるように工夫しています。
2	子育ての悩みや家庭での課題の相談	療育と言う施設ではありますが、保護者様の信頼を得るために子供の取り組みに悩みなどがある場合は保護者様の声を聞き、対策と一緒に考えてアドバイスとアイデア出しています。	保護者様との引き渡し時にコミュニケーションを常に取り、安心して児童を預けて頂いています。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない	イベント等で地域の関わりがありますが、地域で開催する交流などは時間などが合わず参加することが出来ていません。	地域との関わりを増やす為に、地域で、開催される文化的交流に参加し徐々に交流を深めたい
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 プライマリーclubやちよ（児童発達支援）

公表日 2025年 3月 31日

利用児童数 21人

回収数 13人 (61.9%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13				体を動かしやすい広さだと思います。 広くて走り回れるくらいのスペースで良いと思います。	基準に定められたスペース以上の広さを確保しておりますが、必要に応じて他施設を借りる等引き続き工夫して対応致します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13				先生が多いので良く見てもらえていると思います。	基準に定められた人員を確保し、配置しておりますが、児童の特性や人数に応じて配置を配慮できるよう努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13				段差がないので転ぶ心配がないです。	身体的な不自由を抱えた方は利用対象としておらず、構造上段差もありバリアフリー化はされていません。児童が見通しをたてられるよう活動内容を掲示したり、場面に応じて視覚的支援等児童が理解しやすいよう工夫を行っています。児童の特性に応じた環境上の配慮は今後も継続していきたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13				とても綺麗な教室だと思います。	活動で使用した道具や室内、車内の掃除、消毒は毎日実施しております。エアコンの掃除や活動中に換気や加湿などの感染症対策も実施しています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13				できる事が増えてきています。	日々の様子やアセスメントを基に、児童一人ひとりの課題に合う支援方法を提供できるよう共有しています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					2025年2月にホームページに公表致しました。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					3月よりアセスメント様式を見直し、よりニーズや課題を客観的に分析し個別支援計画を作成できるよう努めます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1				令和6年度よりガイドラインに沿った必要な項目を設定し個別支援計画の策定を実施しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	1				毎日記録する画面で計画書を確認しながら支援できるようにしていますが、実際の支援では計画書内容の視点、支援がぬけてしまっていると感じる場面もあるため、計画内容を実際に支援に落とせるよう共有方法を再度要検討致します。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1			苦手なプログラムがありましたが季節ごとになるので安心です。日替わりでやるのとはちがい一定の期間は同じにする事でチャレンジしてみるという経験も出来るので良いと思います。	年間プログラムをカリキュラムとして実施しています。繰り返し行うことでの支援もあるため、固定化されている物もありますが、児童に合わせて工夫をするよう努めてまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	6		質問の内容が理解できなかったもので、この回答としています。	放課後児童クラブや児童館との交流公園に外出した際や、おでかけのイベントの際には地域の他の子どもとの交流はあります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					契約時にご説明した重要事項説明書が運営規定の内容となっております。また、支援プログラムにつきましては2025年2月にホームページに記載いたしました。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	6		必要に応じて相談の時間を設けてくださいました。	ご家族向けのプログラムは実施しておりませんが、イベント等のご参加は今後もお声掛け致しますので、ぜひご参加ください。また、研修会や情報提供等のお知らせも今後はHUGマイページから行えるよう努めてまいります。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	12	1			よく、こちらの状況を伺ってくださいます。	個別支援計画を基に、特性や課題について共通理解を図っています。日々の様子については、送迎にや電話にてお伝えしたり、HUGマイページにて記録しお伝えさせて頂いておりますので、気になることがございましたらいつでもご連絡下さい。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	2	1		まだ短期間の利用で分からない為、この回答にしています	送迎時やお電話での相談、面談の実施等にて相談も受け付けております。相談時には保護者様や児童の不安や疑問を解決できるよう努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					集団カリキュラムを通して、将来の自律を目指して児童一人ひとりの課題や目標に応じた支援を実施しています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	9		もし機会があれば参加したいです。	父母会や保護者会などは開催出来ておりません。きょうだいや保護者様参加型のイベント等は開催に際にお声掛けさせていただいてますので、ぜひ交流の機会としてご参加ください。また、きょうだいのご相談も合わせて行うことが出来ますので、面談もご相談ください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1			質問が理解できなかったのでこの回答としています。	ご要望等があった際には事業所として対応できるよう体制を整えております。ご相談があった際には早期の対応を心がけてお不安や疑問が解消されるよう努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1				児童の特性に合わせて、必要に応じて視覚、聴覚情報を組み合わせる支援するようにしています。保護者様へのお知らせは、お手紙やお電話、HUGマイページでのお知らせを使い分けながら複数回お知らせできるよう努めていますが、漏れのないよう配慮致します。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13					下記内容が閲覧できます。 ホームページ：自己評価、支援プログラム、重要事項説明書、営業所情報 Instagram、ブログ：活動の様子、お知らせ HUGマイページ：お子様の様子、お知らせ
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13					個人情報とは適切に取り扱い、職員とも同意書を交わし、取り扱っております。ボランティアや実習生等外部の人を迎える場合は必ず個人情報の注意事項に同意いただいております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13					厚生労働省、こども家庭庁の通知に従い、各種マニュアルを整備しています。保護者様には契約時又は、訓練時に都度ご説明しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13					非常災害用リュックを営業所で準備し、避難訓練は地震と火事を想定して年2回実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13					安全計画と防犯安全対策指針マニュアルを整備しております。安全計画についてはHUGマイページにて4月に公開し、防犯訓練を年1回実施しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13					怪我や体調不良を含む児童の変化については、送迎時口頭、電話、メール等でお知らせしています。連絡が付かない場合は何度かご連絡する場合もございますので、ご了承下さい。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12	1				お子様が安心して過ごせる場所として、これからも環境整備及び児童の特性や年齢に配慮できるよう努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	3			イヤイヤ期なので通所するまでは嫌がるが行ったら楽しそうにしている。 行ったら楽しむようですが行く前は気が乗らないようです。 楽しくて行きたい！と思って通い、プログラム中も楽しめるのが一番ですが、うちの子供は切り替え等の課題があるので行き渋りは仕方ないかなと思っています。今はプログラム中楽しめているなら良いと思っています。	気持ちに波があるときもありますが、笑顔で過ごせるよう努めてまいります。

	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1		よく子供の様子を聞いてくださった り、プログラム中の様子や子供の取 組みに課題があった場合は対策し てくださり、しっかり報告をしてく ださるので安心して通えます。 また家庭での課題が見つかるアド バイスやアイデアをくださって助か りました。 先生方は子供のことをよく見て考え てくださっているなと感じておりま す。いつもありがとうございます！	日頃より事業所の運営にご理解とご協 力を頂き、ありがとうございます。児童 の自律の為これからもより良い支援を提供 できるよう精進いたします。
--	----	------------------	----	---	--	--	---

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 プライマリーclubやちよ（放課後等デイサービス）

公表日 2025年3月31日

利用児童数 15人

回収数 13人 (86.6%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	2				基準に定められたスペース以上の広さを確保しておりますが、必要に応じて他施設を借りる等引き続き工夫して対応致します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1				基準に定められた人員を確保し、配置しておりますが、児童の特性や人数に応じて配置を配慮できるよう努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	2				身体的な不自由を抱えた方は利用対象としておらず、構造上段差もありバリアフリー化はされていません。児童が見通しをたてられるよう活動内容を掲示したり、場面に応じて視覚的支援等児童が理解しやすいよう工夫を行っています。児童の特性に応じた環境上の配慮は今後も継続していきたいと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13					活動で使用した道具や室内、車内の掃除、消毒は毎日実施しております。エアコンの掃除や活動中に換気や加温などの感染症対策も実施しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	3				日々の様子やアセスメントを基に、児童一人ひとりの課題に合う支援方法を提供うできるよう共有しています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1				2025年2月にホームページに公表致しました。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					3月よりアセスメント様式を見直しし、よりニーズや課題を客観的に分析し個別支援計画を作成できるよう努めます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	3				令和6年度よりガイドラインに沿った必要な項目を設定し個別支援計画の策定を実施しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	1				毎日記録する画面で計画書を確認しながら支援できるようにしていますが、実際の支援では計画書内容の視点、支援がぬけてしまっていると感じる場面もあるため、計画内容を実際に支援に落とせるよう共有方法を再度要検討致します。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	2				年間プログラムをカリキュラムとして実施しています。繰り返し行うことでの支援もあるため、固定化されている物もありますが、児童に合わせて工夫をするよう努めてまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	6	5			放課後児童クラブや児童館との交流公園に外出した際や、おでかけのイベントの際には地域の他の子どもとの交流はあります。
保 護 者	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	2				契約時にご説明した重要事項説明書が運営規定の内容となっております。また、支援プログラムにつきましては2025年2月にホームページに記載いたしました。
	13	「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					モニタリング結果と共に、計画書の目標等ご説明をしておりますが、ご不明点や疑問点があればいつでもお問合せを頂けたらと思います。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	5	5			ご家族向けのプログラムは実施しておりませんが、イベント等のご参加は今後もお声掛け致しますので、ぜひご参加ください。また、研修会や情報提供等のお知らせも今後はHUGマイページから行えるよう努めてまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	9	4				個別支援計画を基に、特性や課題について共通理解を図っています。日々の様子については、送迎にや電話にてお伝えしたり、HUGマイページにて記録しお伝えさせて頂いておりますので、気になることがございましたらいつでもご連絡下さい。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	3	1			送迎時やお電話での相談、面談の実施等にて相談も受け付けております。相談時には保護者様や児童の不安や疑問を解決できるよう努めてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	2				集団カリキュラムを通して、将来の自律を目指して児童一人ひとりの課題や目標に応じた支援を実施しています。

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	3	2	8		父母会や保護者会などは開催出来ておりません。きょうだいや保護者様参加型のイベント等は開催に際にお声掛けさせていただいておりますので、ぜひ交流の機会としてご参加ください。また、きょうだいのご相談も合わせて行うことが出来ますので、面談もご相談ください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	5	1		ご要望等があった際には事業所として対応できるよう体制を整えております。ご相談があった際には早期の対応を心がけてお不安や疑問が解消されるよう努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1			児童の特性に合わせて、必要に応じて視覚、聴覚情報を組み合わせて支援するようにしています。保護者様へのお知らせは、お手紙やお電話、HUGマイページでのお知らせを使い分けながら複数回お知らせできるよう努めていますが、漏れのないよう配慮致します。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	2			下記内容が閲覧できます。 ホームページ：自己評価、支援プログラム、重要事項説明書、営業所情報 Instagram、ブログ：活動の様子、お知らせ HUGマイページ：お子様の様子、お知らせ、安全計画等
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	1			個人情報の取扱いに適切に取り扱い、職員とも同意書进行し、取り扱っております。ボランティアや実習生等外部の人を迎える場合は必ず個人情報の注意事項に同意いただいております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1			厚生労働省、こども家庭庁の通知に従い、各種マニュアルを整備しています。保護者様には契約時又は、訓練時に都度ご説明しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13				非常災害用リュックを営業所で準備し、避難訓練は地震と火事を想定して年2回実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1			安全計画と防犯安全対策指針マニュアルを整備しております。安全計画についてはHUGマイページにて4月に公開し、防犯訓練を年1回実施しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	2			怪我や体調不良を含む児童の変化については、送迎時口頭、電話、メール等でお知らせしています。連絡が付かない場合は何度かご連絡する場合もございますので、ご了承下さい。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12		1		お子様が安心して過ごせる場所として、これからも環境整備及び児童の特性や年齢に配慮できるよう努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12		1		年齢や特性以外にも思春期にさしかかり、来るのが億劫と感じることもあるようです。気持ちに波があるときもありますが、笑顔で過ごせるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	2			日頃より事業所の運営にご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。児童の自律の為これからもより良い支援を提供できるよう精進いたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
プライマリーclubやちよ		2025年 3月 31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	安全面のみにしては見渡せて良いと感じました。	基準で定められた以上のスペースは確保していますが、落ち着く（クールダウンが出来る）スペースの確保も今後要検討
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	使用した物を即片付ける声かけはいいとおもいました。 手厚い支援が必要な児童がいれば、指導員の人数を増やすなど、柔軟に対応している。	基準で定められた児童指導員と加配の指導員を配置しているが、児童の特性や人数に応じて配置数を考えていきたい
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	駐車場が狭く児童と他の自動車が近ため、指導員は常に手繋ぎで対応しますが職員不足時は注意が必要です。 壁のはしなどにカバーをつけていますが、外れてしまうこともあるので適宜補修が必要だと思います	身体的な不自由をつ変えた方は利用対象としておらず、構造上段差もありバリアフリー化はされていません。児童の特性に応じた環境上の配慮は今後も継続が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	毎朝、職員で掃除を行ってから児童を迎え入れている。 カリキュラム終了後、使用した物の拭き掃除を行っている 活動で使用した道具や室内、車内の掃除、消毒は毎日実施しております。エアコンの掃除や活動中に換気や加温などの感染症対策も実施しています。	床がカーペットのような素材なのでハウスダスト、ダニのアレルギーのある子がくしゃみと鼻水が止まらずカリキュラムに取り組むのが辛そうな時があるので床を替えてほしい。 掃除機だけでは限界がある。 床の素材については、費用面も検討しつつ、今後変更のタイミング等で適切なものに変更するために、今後要検討
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	3	消防対策の為、吹き抜けでこえが聞こえてしまうので配慮をしている。 静養室や相談室が設置されている。	一人でクールダウンできる場所がありません。構造的に難しいとは思いますが簡易的なパーテーションの設置を検討してもいいと思います。個別の部屋が狭いパーテーションなどの活用も工夫しつつ、クールダウンが出来るスペースの確保も今後要検討
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	支援に必要な情報は毎日朝礼、終礼等で確認しています。目標に対しての振り替えを行う中で児童の様子を振り返ることはできていると思います。	指導員の対応についての振り返りという点に関しては課題があるため改善が必要。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎年評価を実施し、頂いたご意見は社内でも共有し、運営の参考にさせて頂いています。	支援については、ニーズを伺いながら状況に応じた提案ができるよう努めています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	職員同士の話し合いがなされている点。 所長やリーダーを中心に、風通し良く、皆が意見を言って、業務改善に向けて話し合える環境が整っている。	営業所内で話し合いを実施し、業務改善につなげています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3	法令順守のため、顧問弁護士に相談を実施しています。	第三者の評価については実施しておりませんが、必要な際には第三者の外部評価も検討いたします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	年間研修計画を立て、毎月研修を実施しています。ジョブメドレー研修や、3営業所合同研修など、毎月受講している。 ジョブメドレーで毎月研修を受けている	研修項目が多く煩雑になりやすいため、わかりやすい研修になるよう毎年見直しを実施しています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	児童の様子をコメントにて公表していること。 児童が飽きないよう、新しいカリキュラムを適宜作成、実施している。また新しいカリキュラムについては、Instagramにて、保護者に紹介している。支援プログラムについては、5領域を踏まえ2025年2月にホームページに掲載し公表しました。	今後も内容の見直し等を実施していきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	9	0	日頃から児童に接する際に課題を意識して対応している。 個別支援計画作成の際に、本人と保護者の意向を確認し、支援計画に反映させている。 保護者意向と本人の好きなカリキュラムを聞いて、作成している	3月よりアセスメント様式を見直し、よりニーズや課題を客観的に分析し個別支援計画を作成できるよう努めます。
	13	個別支援計画 を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	常に話し合いや報告がなされている。 担当者会議には、支援に関わる複数の指導員が参加し、児童の課題について様々な角度から検討をしている。 ケア会議を行い、話し合いながら検討している	
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	計画書作成の時点では共有されています。 HUGの日々の記録を入力する画面でも計画内容が反映され、確認できるようになっています。	実際の支援では計画書内容の視点、支援がぬけてしまっていると感じる場面もあるため、計画内容を実際に支援に落とせるよう共有方法を再度要検討

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	保護者様、家庭、本人の状況変化に応じた日々の変化等は支援経過やアセスメントに追加反映するなど実施しています。	
	16	個別支援計画 には、児童発達支援計画及び放課後等デイサービスガイドラインの「児童発達支援計画及び放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	令和6年度よりガイドラインに沿った必要な項目を設定し個別支援計画の策定を実施しています。	地域連携においては児童の関係する機関が夫れ夫れ異なる中で密な連携をとれている所とそうではない所の差が激しいと思います
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	いつでも活動内容に関して発言できる雰囲気である。 カリキュラム立案や、行事の準備など、チームで協力して行っている。 新カリキュラムや季節の行事等、協力しながら行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	季節ごとカリキュラムを変えて実施している。 年齢や個々の成長に合わせて、声掛けやパネルの見せ方等工夫している。 春夏秋冬でカリキュラムを変え、季節の歌は毎月変えている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	グルグルサーキットなど、集団活動でのルールを学ぶカリキュラムと、手あそびで手先を使って個々に取り組むカリキュラムがある	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	当日、役割分担を行い、かたよりが出ないようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	役割分担で記録に関して入力している。 職員間で話しあった内容を共有出来るように、ファイルやケア記録に記入している。 終礼ノートで、ふりかえりを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	毎回提供記録を入力している。共有したい内容は連絡ノートやケア記録に記入している	
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	保護者さまへの面談確認や児童の日常の様子伺い、最低6か月以内のモニタリングを実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	9	0	毎日の事ではあるが声かけや対応は随時変化する。 4つの基本活動①日常生活の充実と自立支援のための活動② 多様な遊びや体験活動 ③ 地域交流の活動④こどもが主体的に参画できる活動を組み合わせたカリキュラムやイベントとを実施しています。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。（放デイ）	8	1	児童の話を書く。視覚支援からなる対応。	自己選択の支援については指導員側のスキルがまだ不足していると感じるため、研修等を通した意思決定支援も含めてスキルアップできるように努めます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	実際に支援に入っているスタッフが参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	児童が通う保育園や、言葉と発達の相談室と連携を図っています。	
	28	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	児童が通っている園の送迎時、情報共有しています。	実際に併行利用はありますが、移行に向けて積極的な施設との共有はなかなか難しく、保護者様を中心に情報共有は行われています。施設同士での移行に向けた積極的な支援が出来るよう努めていきます。
	29	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	保護者様の希望があった際や、求められた際には情報共有を行っています。	
	30	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。（放デイ）	9	0	毎月下校時刻の確認や行事等常に連携を図り、必要に応じて児童の状況等を共有しています。	
	31	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。（放デイ）	8	1	保護者様の希望があった際や、求められた際には情報共有を行っています。	積極的な情報共有がされていないこともあるため、保護者様に理解をいただき情報共有を進めていけるよう努めていきます。
	32	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。（放デイ）	9	0	保護者様の希望があった際や、求められた際には情報共有を行っています。	
	33	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	0	児童発達支援センターやことばと発達の相談室との連携を実施しています。	
	34	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	児童が通う園の見学を行い、共有をはかっている。	短い時間の為、なかなか地域の中で利用児童以外の児童や保育所等との交流はできていません。
	35	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。（放デイ）	5	4	自立支援協議会には参加できていませんが、議事録をホームページ等で確認しています。他放課後連等には加盟しております。	

	36	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	保護者様との関わり。 送迎の際に児童の様子を伝えたり、HUGの提供記録を通じて情報共有を図っている。 HUGでの提供記録や保護者コメント、送迎時などにコミュニケーションをとっている	提供記録（HUGアプリマイページ）にログインして閲覧できていない保護者様もいるため、より多くの保護者様が見ることができるよう周知方法等改善が必要。
	37	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4	個別のご相談については情報提供等は実施しています。	家族支援プログラムとして実際に研修等は行うことができていない。
保 護 者 へ の 説 明 等	38	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	運営規定に記載してある内容を記した重要事項説明書を利用時に保護者様へ説明を実施しています。カリキュラム内容についても説明を行っています。	
	39	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	9	0	保護者様からの意向確認を実施し、意思表示が可能な場合はこどもからの意向も確認しております。	
	40	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	9	0	必ず説明をし、同意を頂いております。	
	41	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	面談を行った後は、職員間で共有をはかっています。	
	42	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	4	イベントの際には保護者様参加のお声掛けを実施しております。	父母会など定期的な活動はできていません。保護者様同士での交流が出来るよう今後計画等要検討
	43	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	ご相談があった際には、迅速に対応するよう努めています。	
	44	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	Instagramを通じて、カリキュラム内容や行事予定について発信しています。 月に2〜3回、Instagramにて情報を発信しています。	
	45	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	個人情報の取り扱いについては十分留意しています。	
	46	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
非 常 時 等 の 対 応	47	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4	体験会を行っている	行事に地域住民の招待はできていませんが、実習生やボランティアの受け入れを実施しております。
	48	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	各種マニュアル策定し、スタッフに研修等を周知し、避難訓練、防犯訓練については保護者様にも都度周知しています。	
	49	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	避難訓練や、BCP訓練を定期的に実施している。	
	50	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	服薬、てんかん等の確認をし、発作時の対応等保護者に確認し職員で共有しています。	
	51	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	食事の提供はありませんが、調理イベントの時は確認を取っており、該当者はおりません。	食事の提供はありませんが、症状等必要に応じて出来る限りの対応を致します。
	52	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	安全計画を策定し、研修、訓練を年1回以上実施。安全確認も毎月実施しております。	
	53	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	安全計画についてご家族へ周知し、2025年度以降はマイページでも公表予定です。	
	54	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハット検討会を定期的に実施している。	
	55	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	職員間で共有している。	
	56	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	9	0	身体拘束適正化のため、指針やマニュアルを整備し、該当者はいないが該当する場合には計画書に記載や話し合いを実施することとなっています。	